

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商 品 分 類	追加型投信／海外／債券	
信 託 期 間	無期限	
運 用 方 針	信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。	
主要投資対象	ベビーファンド	ダイワ・エマージング高金利債券 マザーファンドの受益証券
	ダイワ・エマージング 高 金 利 債 券 マザーファンド	海外の債券
マザーファンドの 運 用 方 法	①主として、エマージング諸国の現地通貨建債券に分散投資することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。 ②投資にあたっては、以下の点に留意しながら運用を行なうことを基本とします。 イ. J Pモルガン ガバメント・ボンド・インデックスーエマージング・マーケットズ ブロードの構成国を参考に投資対象通貨を選定します。 ロ. 通貨の地域配分にあたっては、欧州・中東・アフリカ地域、アジア地域、中南米地域の3地域へ均等とすることをめざします。 ハ. 各地域ごとに3通貨を選定して均等に配分することをめざします。通貨の選定にあたっては、各国の金利水準、経済ファンダメンタルズ、流動性等から判断し、年2回以上見直しを行ないます。なお流動性、市場状況等によっては通貨数が異なる場合があります。 ニ. 投資する債券は、各国の政府、政府関係機関および国際機関等が発行するものとし、取得時においてB B格相当以上（ムーディーズでB a 3以上またはS & PでB Bー以上）とします。 ホ. ポートフォリオの修正デューレーションは1（年）程度から3（年）程度の範囲とします。 ③為替変動リスクを回避するための為替ヘッジは原則として行ないません。	
組 入 制 限	ベビーファンドの マザーファンド組入上限比率	無制限
	マザーファンドの 株 式 組 入 上 限 比 率	純資産総額の10%以下
分 配 方 針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、原則として、安定した分配を継続的に行なうことをめざします。1月と7月の計算期末については、上記継続分配相当額に付加して分配する場合があります。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。	

当ファンドは、ファミリーファンド方式で運用を行ないます。ファミリーファンド方式とは、受益者からの資金をまとめてベビーファンド（当ファンド）とし、その資金を主としてマザーファンドの受益証券に投資して、実質的な運用をマザーファンドで行なう仕組みです。

ダイワ・エマージング 高金利債券ファンド （毎月分配型）

運用報告書（全体版）

第77期	（決算日	2014年 8 月15日）
第78期	（決算日	2014年 9 月16日）
第79期	（決算日	2014年10月15日）
第80期	（決算日	2014年11月17日）
第81期	（決算日	2014年12月15日）
第82期	（決算日	2015年 1 月15日）

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

さて、「ダイワ・エマージング高金利債券ファンド（毎月分配型）」は、このたび、第82期の決算を行ないました。

ここに、第77期～第82期中の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

大和投資信託

Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
お問い合わせ先（コールセンター）
TEL 0120-106212
（営業日の9：00～17：00）
<http://www.daiwa-am.co.jp/>

ダイワ・エマージング高金利債券ファンド（毎月分配型）

■最近30期の運用実績

決 算 期	基 準 価 額			J Pモルガン GBI-EMグロー バル ダイバーシファイド (円換算)		公 社 債 組入比率	純 資 産 総 額
	(分配落)	税 込 金 分 配	期 中 騰 落 率	(参考指数)	期 中 騰 落 率		
	円	円	%		%	%	百万円
53期末(2012年 8月15日)	5,911	70	0.4	11,097	1.6	95.9	8,975
54期末(2012年 9月18日)	5,918	70	1.3	11,331	2.1	96.1	8,863
55期末(2012年10月15日)	5,822	50	△ 0.8	11,302	△ 0.2	96.1	8,658
56期末(2012年11月15日)	5,895	50	2.1	11,540	2.1	97.2	8,316
57期末(2012年12月17日)	6,258	50	7.0	12,484	8.2	96.8	8,636
58期末(2013年 1月15日)	6,699	50	7.8	13,498	8.1	97.3	9,149
59期末(2013年 2月15日)	6,912	50	3.9	14,076	4.3	96.4	9,291
60期末(2013年 3月15日)	7,057	50	2.8	14,414	2.4	96.4	9,312
61期末(2013年 4月15日)	7,265	50	3.7	15,164	5.2	95.8	9,417
62期末(2013年 5月15日)	7,406	50	2.6	15,735	3.8	96.9	9,374
63期末(2013年 6月17日)	6,475	50	△ 11.9	13,735	△ 12.7	96.0	8,008
64期末(2013年 7月16日)	6,650	50	3.5	13,943	1.5	96.6	8,165
65期末(2013年 8月15日)	6,430	50	△ 2.6	13,552	△ 2.8	95.3	7,831
66期末(2013年 9月17日)	6,376	50	△ 0.1	13,686	1.0	95.0	7,705
67期末(2013年10月15日)	6,398	50	1.1	13,906	1.6	96.8	7,662
68期末(2013年11月15日)	6,322	50	△ 0.4	13,823	△ 0.6	97.2	7,537
69期末(2013年12月16日)	6,407	50	2.1	14,207	2.8	96.8	7,517
70期末(2014年 1月15日)	6,287	50	△ 1.1	14,153	△ 0.4	97.1	7,199
71期末(2014年 2月17日)	6,018	50	△ 3.5	13,597	△ 3.9	97.2	6,841
72期末(2014年 3月17日)	5,983	50	0.2	13,655	0.4	95.1	6,758
73期末(2014年 4月15日)	6,145	50	3.5	14,258	4.4	96.4	6,965
74期末(2014年 5月15日)	6,223	50	2.1	14,573	2.2	96.5	7,015
75期末(2014年 6月16日)	6,185	50	0.2	14,631	0.4	96.3	6,729
76期末(2014年 7月15日)	6,177	50	0.7	14,744	0.8	96.9	6,645
77期末(2014年 8月15日)	6,118	50	△ 0.1	14,712	△ 0.2	96.8	6,540
78期末(2014年 9月16日)	6,193	50	2.0	14,957	1.7	94.7	6,536
79期末(2014年10月15日)	6,064	50	△ 1.3	14,843	△ 0.8	96.5	6,392
80期末(2014年11月17日)	6,451	50	7.2	15,798	6.4	97.4	6,709
81期末(2014年12月15日)	6,285	50	△ 1.8	15,307	△ 3.1	97.1	6,448
82期末(2015年 1月15日)	6,230	50	△ 0.1	15,228	△ 0.5	96.2	6,326

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

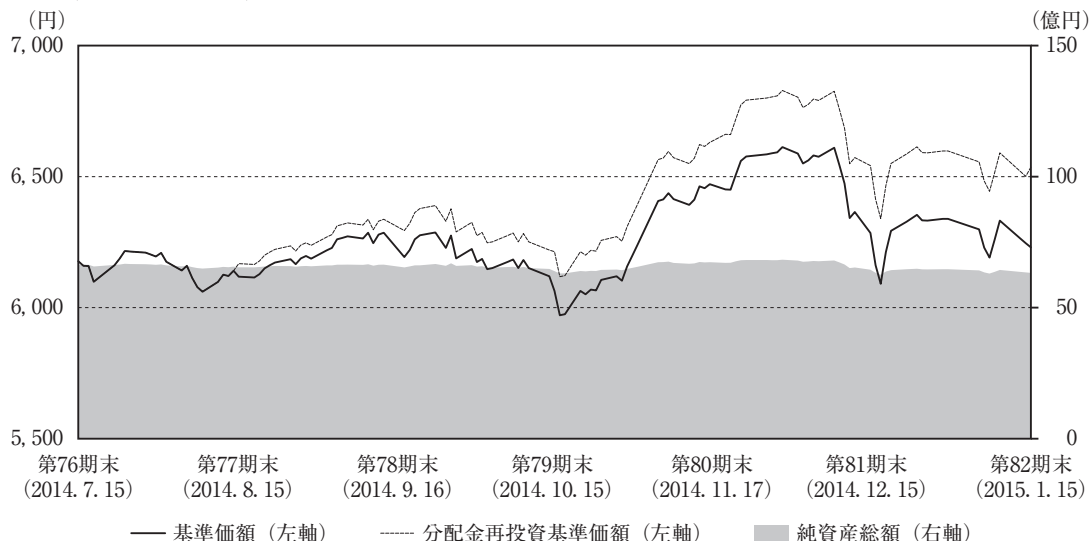
(注2) J Pモルガン GBI-EMグローバル ダイバーシファイド (円換算) は、J Pモルガン ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット グローバル ダイバーシファイド (米ドルベース) を円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和投資信託が計算したものです。J Pモルガン ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット グローバル ダイバーシファイドは、信頼性が高いとみなす情報に基づき作成していますが、J. P. Morgan はその完全性・正確性を保証するものではありません。本指数は許諾を受けて使用しています。J. P. Morgan からの書面による事前承諾なしに本指数を複製・使用・頒布することは認められていません。Copyright 2014, J. P. Morgan Chase & Co. All rights reserved.

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注5) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。

■当作成期間（第77期～第82期）中の基準価額と市況の推移



* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものであり、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまが利用するコースにより異なります。また、分配金の課税条件は、ファンドの購入価額により異なります。

	年 月 日	基 準 価 額		J Pモルガン G B I - E Mグロー バル ダイバーシファイド（円換算）		公 社 債 組 入 比 率
		騰 落 率	騰 落 率	（参考指数）	騰 落 率	
第77期	(期首)2014年 7 月15日	円	%		%	%
	7 月末	6,177	—	14,744	—	96.9
	(期末)2014年 8 月15日	6,209	0.5	14,800	0.4	95.9
第78期	(期首)2014年 8 月15日	6,168	△ 0.1	14,712	△ 0.2	96.8
	8 月末	6,118	—	14,712	—	96.8
	(期末)2014年 9 月16日	6,187	1.1	14,856	1.0	96.6
第79期	(期首)2014年 9 月16日	6,243	2.0	14,957	1.7	94.7
	9 月末	6,193	—	14,957	—	94.7
	(期末)2014年10月15日	6,174	△ 0.3	14,906	△ 0.3	97.1
第80期	(期首)2014年10月15日	6,114	△ 1.3	14,843	△ 0.8	96.5
	10 月末	6,064	—	14,843	—	96.5
	(期末)2014年11月17日	6,239	2.9	15,242	2.7	97.5
第81期	(期首)2014年11月17日	6,501	7.2	15,798	6.4	97.4
	11 月末	6,451	—	15,798	—	97.4
	(期末)2014年12月15日	6,613	2.5	16,292	3.1	96.8
第82期	(期首)2014年12月15日	6,335	△ 1.8	15,307	△ 3.1	97.1
	12 月末	6,285	—	15,307	—	97.1
	(期末)2015年 1 月15日	6,339	0.9	15,486	1.2	96.5
		6,280	△ 0.1	15,228	△ 0.5	96.2

（注）期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

第77期首：6,177円 第82期末：6,230円（既払分配金300円） 騰落率：5.8%（分配金再投資ベース）

【基準価額の主な変動要因】

投資している債券の利息収入に加えて、債券の値上がりや通貨が円に対して上昇したことが、基準価額の値上がりに寄与しました。

◆投資環境について

○債券市況

債券市況は、米国で早期利上げ観測が高まった局面では、新興国からの資金流出が懸念され金利上昇する場面もありましたが、原油価格の下落からインフレ見通しが世界的に後退していることを背景に、金利は低下する国が多くなりました。

・欧州・中東・アフリカ地域

トルコでは、原油価格の下落を受けてインフレ見通しが低下し、政策金利の引下げ期待が高まったことから金利は低下しました。南アフリカでは、インフレ率が中央銀行の目標範囲内まで低下し、追加利上げ観測が後退したことから金利は低下しました。ロシアでは、ウクライナ情勢への懸念が続く中、原油価格の下落を受けた資金流出懸念や格下げ懸念から金利は上昇しました。ポーランドでは、インフレ率の低下を受けて政策金利の引下げが行なわれたことから金利は低下しました。

・アジア地域

インドネシアでは、大統領選挙の結果を受けて政治的不透明感が後退したほか、燃料補助金削減による財政収支の改善期待を受けて金利は低下しました。フィリピンでは、格付会社による格上げが好感されて金利は低下しました。インドでは、インフレ率の低下を受けて政策金利の引下げ期待が高まり金利は低下しました。マレーシアでは、原油価格下落が経済に与える影響が懸念され金利は上昇しました。

・中南米地域

ブラジルでは、大統領選挙の結果を受けて改革期待が後退したことや政策金利の引上げを受けて金利は上昇しました。メキシコでは、米国で早期利上げ観測が高まる中、米国債券市場の影響を受けて金利は上昇しました。コロンビアでは、政策金利の引上げ停止が短期債の金利低下要因となりましたが、原油価格下落を受けた財政収支悪化への懸念が中長期債の金利上昇要因となりました。

○為替相場

対円為替相場は、新興国からの資金流出懸念を背景に各通貨共に下落する局面もありましたが、当期間を通してみると、日銀の金融緩和等を背景に円安が進展したことから、対円で上昇する国が多くなりました。

・欧州・中東・アフリカ地域

原油価格下落によるインフレ圧力の低下および経常収支改善期待から資金流入がみられたトルコ・リラ、インフレ率の低下や財政政策が好感された南アフリカ・ランドが対円で上昇しました。ポーランド・ズロチは、政策金利の引下げへの期待が重しとなり対円で下落しました。ロシア・ルーブルは、原油価格の下落や欧米諸国による経済制裁、格下げなどが要因となり下落しました。

・アジア地域

インドネシア・ルピアおよびインド・ルピーは、構造改革期待が支えとなり対円で上昇しました。フィリピン・ペソは、格付会社による格上げが好感されて対円で上昇しました。マレーシア・リンギットは、原油価格下落による経常収

支の悪化が懸念され対円で小幅な上昇にとどまりました。

・中南米地域

ブラジル・レアルは、インフレや財政悪化懸念から対円で下落しました。メキシコ・ペソは、米国景気回復の恩恵期待が支えとなりましたが、原油価格下落が嫌気され対円で小幅な上昇となりました。コロンビア・ペソは、主要輸出品目である原油価格の下落が嫌気され対円で下落しました。

◆前作成期間末における「今後の運用方針」

当ファンドの商品性格に鑑み、「ダイワ・エマージング高金利債券マザーファンド」の受益証券を高位で組入れ、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。

マザーファンドの運用につきましては、欧州・中東・アフリカ、アジア、中南米の3地域で地域分散を図り、その地域内で3通貨ずつ、計9通貨の高金利債券に投資することで、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。

金利変動リスクを表す修正デュレーションは約1（年）程度から3（年）程度でコントロールします。

◆ポートフォリオについて

○当ファンド

当作成期間を通じて「ダイワ・エマージング高金利債券マザーファンド」の受益証券を高位で組入れ、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないました。

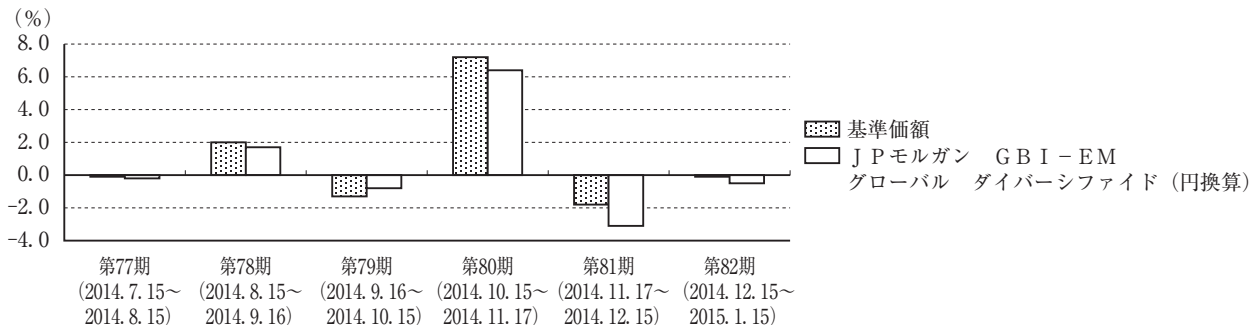
○ダイワ・エマージング高金利債券マザーファンド

- ・通貨配分に関しては、基本的な商品性格に基づき、各地域均等、各地域内の投資通貨においても均等となることをめざしました。
- ・欧州・中東・アフリカ地域においては、トルコ・リラ、南アフリカ・ランド、ロシア・ルーブル、ポーランド・ズロチ、アジア地域ではインドネシア・ルピア、フィリピン・ペソ、マレーシア・リンギット、インド・ルピー、中南米地域ではブラジル・レアル、コロンビア・ペソ、メキシコ・ペソへ投資しました。
- ・欧州・中東・アフリカ地域では、経済ファンダメンタルズの観点から2014年7月にロシア・ルーブルを除外し、新たにポーランド・ズロチへ、アジア地域では、金利水準の観点から2014年7月にフィリピン・ペソを除外し、新たにインド・ルピーへ投資を行ないました。
- ・債券ポートフォリオの金利リスクについては、修正デュレーションで2.3（年）～2.9（年）程度としました。また、組入債券の種別構成については、現地通貨建国債と国際機関債からなるポートフォリオ構成としました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率との対比です。



◆分配金について

【収益分配金】

第77期から第82期の1万口当り分配金（税込み）はそれぞれ50円といたしました。

■分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	第77期	第78期	第79期	第80期	第81期	第82期
	2014年7月16日 ～2014年8月15日	2014年8月16日 ～2014年9月16日	2014年9月17日 ～2014年10月15日	2014年10月16日 ～2014年11月17日	2014年11月18日 ～2014年12月15日	2014年12月16日 ～2015年1月15日
当期分配金（税込み）（円）	50	50	50	50	50	50
対基準価額比率（％）	0.81	0.80	0.82	0.77	0.79	0.80
当 期 の 収 益（円）	33	39	30	44	31	33
当期の収益以外（円）	16	10	19	5	18	16
翌期繰越分配対象額（円）	641	631	612	606	587	571

（注1）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

（注2）円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

（注3）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

【決定根拠、留保益の今後の運用方針】

収益分配金の決定根拠は下記の「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	第 77 期	第 78 期	第 79 期	第 80 期	第 81 期	第 82 期
(a) 経費控除後の配当等収益	33.10円	39.40円	30.85円	44.28円	31.08円	33.96円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(c) 収 益 調 整 金	231.90	232.74	239.85	240.63	241.33	242.42
(d) 分 配 準 備 積 立 金	426.83	409.13	391.74	371.86	365.48	345.53
(e) 当期分配対象額 (a + b + c + d)	691.84	681.29	662.45	656.78	637.90	621.92
(f) 分 配 金	50.00	50.00	50.00	50.00	50.00	50.00
(g) 翌期繰越分配対象額 (e - f)	641.84	631.29	612.45	606.78	587.90	571.92

（注）下線を付した該当項目から分配金を計上しています。

《今後の運用方針》

○当ファンド

当ファンドの商品性格に鑑み、引続き、「ダイワ・エマージング高金利債券マザーファンド」の受益証券を高位で組入れ、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。

○ダイワ・エマージング高金利債券マザーファンド

欧州・中東・アフリカ、アジア、中南米の3地域で地域分散を図り、その地域内で3通貨ずつ、計9通貨の高金利債券に投資することで、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。

金利リスクを表す修正デュレーションは約1（年）程度～3（年）程度でコントロールします。

■ 1 万口当りの費用の明細

項 目	第77期～第82期		項 目 の 概 要
	(2014. 7. 16～2015. 1. 15)		
	金 額	比 率	
信託報酬 (投信会社) (販売会社) (受託銀行)	46円 (20) (24) (1)	0. 728% (0. 326) (0. 380) (0. 021)	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額（月末値の平均値）は6, 266円です。 投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、目論見書・運用報告書の作成等の対価 販売会社分は、運用報告書等各种書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価 受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	—	—	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権総口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有価証券取引税	—	—	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
その他費用 (保管費用) (監査費用)	3 (3) (0)	0. 044 (0. 041) (0. 004)	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	48	0. 772	

（注１）期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

（注２）金額欄は各項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

（注３）比率欄は1万口当りのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

■ 売買および取引の状況

親投資信託受益証券の設定・解約状況

（2014年7月16日から2015年1月15日まで）

決 算 期	第 77 期 ～ 第 82 期			
	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
ダイワ・エマージング 高金利債券 マザーファンド	千口	千円	千口	千円
	46, 954	65, 000	612, 421	851, 500

（注）単位未満は切捨て。

■ 組入資産明細表

親投資信託残高

種 類	第76期末	第 82 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
	千口	千口	千円
ダイワ・エマージング 高金利債券マザーファンド	5, 004, 924	4, 439, 457	6, 322, 230

（注）単位未満は切捨て。

■ 投資信託財産の構成

2015年1月15日現在

項 目	第 82 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
ダイワ・エマージング高金利債券マザーファンド	6, 322, 230	98. 9
コ ー ル ・ ロ ー ン 等、 そ の 他	68, 067	1. 1
投 資 信 託 財 産 総 額	6, 390, 298	100. 0

（注１）評価額の単位未満は切捨て。

（注２）外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、1月15日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル＝117. 71円、1トルコ・リラ＝51. 54円、1メキシコ・ペソ＝8. 13円、100コロンビア・ペソ＝4. 85円、1インド・ルピー＝1. 91円、100インドネシア・ルピア＝0. 94円、1ブラジル・レアル＝44. 98円、1マレーシア・リンギット＝32. 99円、1南アフリカ・ランド＝10. 28円、1ポーランド・ズロチ＝32. 58円です。

（注３）ダイワ・エマージング高金利債券マザーファンドにおいて、第82期末における外貨建純資産（92, 344, 336千円）の投資信託財産総額（94, 192, 477千円）に対する比率は、98. 0％です。

■ 利害関係人との取引状況

当作成期間（第77期～第82期）中における利害関係人との取引はありません。

ダイワ・エマージング高金利債券ファンド（毎月分配型）

■資産、負債、元本および基準価額の状況

（2014年8月15日）、（2014年9月16日）、（2014年10月15日）、（2014年11月17日）、（2014年12月15日）、（2015年1月15日）現在

項 目	第 77 期 末	第 78 期 末	第 79 期 末	第 80 期 末	第 81 期 末	第 82 期 末
(A)資 産	6,602,815,665円	6,607,906,799円	6,480,665,227円	6,781,834,656円	6,510,259,785円	6,390,298,177円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	15,519,027	34,098,747	11,017,905	12,076,761	16,842,715	23,067,206
ダイワ・エマージング高金利債券 マザーファンド（評価額）	6,535,296,638	6,573,808,052	6,389,647,322	6,755,757,895	6,448,417,070	6,322,230,971
未 収 入 金	52,000,000	—	80,000,000	14,000,000	45,000,000	45,000,000
(B)負 債	62,813,592	71,650,706	88,061,533	71,949,012	61,805,995	63,532,628
未 払 収 益 分 配 金	53,445,802	52,774,277	52,709,562	52,008,595	51,301,457	50,778,897
未 払 解 約 金	1,214,587	10,409,390	27,661,615	11,192,244	2,790,713	4,589,536
未 払 信 託 報 酬	8,107,840	8,374,817	7,555,859	8,565,747	7,489,496	7,895,685
そ の 他 未 払 費 用	45,363	92,222	134,497	182,426	224,329	268,510
(C)純 資 産 総 額 (A－B)	6,540,002,073	6,536,256,093	6,392,603,694	6,709,885,644	6,448,453,790	6,326,765,549
元 本	10,689,160,590	10,554,855,433	10,541,912,429	10,401,719,137	10,260,291,591	10,155,779,568
次 期 繰 越 損 益 金	△ 4,149,158,517	△ 4,018,599,340	△ 4,149,308,735	△ 3,691,833,493	△ 3,811,837,801	△ 3,829,014,019
(D)受 益 権 総 口 数	10,689,160,590口	10,554,855,433口	10,541,912,429口	10,401,719,137口	10,260,291,591口	10,155,779,568口
1万口当り基準価額(C／D)	6,118円	6,193円	6,064円	6,451円	6,285円	6,230円

*第76期末における元本額は10,758,469,019円、当作成期間（第77期～第82期）中における追加設定元本額は302,593,644円、同解約元本額は905,283,095円です。

*第82期末の計算口数当りの純資産額は6,230円です。

*第82期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は3,829,014,019円です。

■損益の状況

第77期 自 2014年7月16日 至 2014年8月15日

第79期 自 2014年9月17日 至 2014年10月15日

第81期 自 2014年11月18日 至 2014年12月15日

第78期 自 2014年8月16日 至 2014年9月16日

第80期 自 2014年10月16日 至 2014年11月17日

第82期 自 2014年12月16日 至 2015年1月15日

項 目	第 77 期	第 78 期	第 79 期	第 80 期	第 81 期	第 82 期
(A)配 当 等 収 益	675円	505円	738円	481円	396円	574円
受 取 利 息	675	505	738	481	396	574
(B)有価証券売買損益	△ 1,552,814	139,581,146	△ 76,274,395	462,882,040	△ 111,397,882	2,748,029
売 買 益	404,621	141,011,719	430,311	467,184,679	1,749,862	3,822,715
売 買 損	△ 1,957,435	△ 1,430,573	△ 76,704,706	△ 4,302,639	△ 113,147,744	△ 1,074,686
(C)信 託 報 酬 等	△ 8,153,203	△ 8,421,676	△ 7,598,134	△ 8,613,676	△ 7,531,399	△ 7,939,866
(D)当 期 損 益 金 (A+B+C)	△ 9,705,342	131,159,975	△ 83,871,791	454,268,845	△ 118,928,885	△ 5,191,263
(E)前 期 繰 越 損 益 金	△ 595,328,215	△ 648,928,098	△ 560,121,835	△ 686,079,880	△ 279,453,355	△ 443,775,533
(F)追 加 信 託 差 損 益 金	△ 3,490,679,158	△ 3,448,056,940	△ 3,452,605,547	△ 3,408,013,863	△ 3,362,154,104	△ 3,329,268,326
(配 当 等 相 当 額)	(247,885,972)	(245,661,801)	(252,857,019)	(250,304,681)	(247,612,931)	(246,204,190)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△ 3,738,565,130)	(△ 3,693,718,741)	(△ 3,705,462,566)	(△ 3,658,318,544)	(△ 3,609,767,035)	(△ 3,575,472,516)
(G)合 計 (D+E+F)	△ 4,095,712,715	△ 3,965,825,063	△ 4,096,599,173	△ 3,639,824,898	△ 3,760,536,344	△ 3,778,235,122
(H)収 益 分 配 金	△ 53,445,802	△ 52,774,277	△ 52,709,562	△ 52,008,595	△ 51,301,457	△ 50,778,897
次 期 繰 越 損 益 金 (G+H)	△ 4,149,158,517	△ 4,018,599,340	△ 4,149,308,735	△ 3,691,833,493	△ 3,811,837,801	△ 3,829,014,019
追 加 信 託 差 損 益 金	△ 3,490,679,158	△ 3,448,056,940	△ 3,452,605,547	△ 3,408,013,863	△ 3,362,154,104	△ 3,329,268,326
(配 当 等 相 当 額)	(247,885,972)	(245,661,801)	(252,857,019)	(250,304,681)	(247,612,931)	(246,204,190)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△ 3,738,565,130)	(△ 3,693,718,741)	(△ 3,705,462,566)	(△ 3,658,318,544)	(△ 3,609,767,035)	(△ 3,575,472,516)
分 配 準 備 積 立 金	438,195,181	420,656,502	392,790,280	380,857,735	355,592,254	334,635,228
繰 越 損 益 金	△ 1,096,674,540	△ 991,198,902	△ 1,089,493,468	△ 664,677,365	△ 805,275,951	△ 834,380,921

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は8ページの「収益分配金の計算過程（総額）」の表を参照。

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	第 77 期	第 78 期	第 79 期	第 80 期	第 81 期	第 82 期
(a) 経費控除後の配当等収益	35,385,346円	41,591,631円	32,526,342円	46,065,305円	31,895,082円	34,493,817円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0	0	0	0	0
(c) 収 益 調 整 金	247,885,972	245,661,801	252,857,019	250,304,681	247,612,931	246,204,190
(d) 分 配 準 備 積 立 金	456,255,637	431,839,148	412,973,500	386,801,025	374,998,629	350,920,308
(e) 当期分配対象額 (a + b + c + d)	739,526,955	719,092,580	698,356,861	683,171,011	654,506,642	631,618,315
(f) 分 配 金	53,445,802	52,774,277	52,709,562	52,008,595	51,301,457	50,778,897
(g) 翌期繰越分配対象額 (e - f)	686,081,153	666,318,303	645,647,299	631,162,416	603,205,185	580,839,418
(h) 受 益 権 総 口 数	10,689,160,590口	10,554,855,433口	10,541,912,429口	10,401,719,137口	10,260,291,591口	10,155,779,568口

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ						
1 万 口 当 り 分 配 金	第77期	第78期	第79期	第80期	第81期	第82期
	50円	50円	50円	50円	50円	50円
（ 単 価 ）	（6, 118円）	（6, 193円）	（6, 064円）	（6, 451円）	（6, 285円）	（6, 230円）

●〈分配金再投資コース〉をご利用の方の税引き分配金は、上記（ ）内の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

分配金の課税上の取扱いについて

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ・普通分配金については、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%および地方税5%）の税率による源泉徴収が行なわれ、申告不要制度が適用されます。なお、確定申告を行ない、申告分離課税または総合課税（配当控除の適用はありません。）を選択することもできます。
- ・法人の受益者の場合、税率が異なります。
- ・税法が改正された場合等には、上記の内容が変更になることがあります。くわしくは、販売会社にお問い合わせください。
- ・課税上の取扱いの詳細につきましては、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

当ファンドは少額投資非課税制度「NISA（ニーサ）」の適用対象です。非課税口座における取扱いについては販売会社にお問い合わせください。

《お知らせ》

- 運用報告書（全体版）の電子交付について
2014年12月1日施行の法改正により、運用報告書は「交付運用報告書」と「運用報告書（全体版）」（本書）の2種類になりましたが、「運用報告書（全体版）」については、交付に代えて電子交付する旨を信託約款に定めました。
- 書面決議手続きの改正について
重大な約款変更や繰上償還の際に行なう書面決議について、2014年12月1日施行の法改正により以下の点が変更されたことに伴い、信託約款の該当箇所の変更を行ないました。
 - ・書面決議の可決要件が、「受益者の半数以上の賛成かつ受益者の保有する議決権の3分の2以上の賛成を得ること」から「受益者の保有する議決権の3分の2以上の賛成を得ること」に変更されました。
 - ・投資信託の併合を行なう際、すべての場合で書面決議が必要とされてきましたが、その併合が受益者の利益に及ぼす影響が軽微なものであるときは、当該併合に関する書面決議が不要となりました。
 - ・書面決議に反対した受益者による受益権買取請求の規定について、一部解約請求に応じる投資信託（当ファンドは該当します。）には適用されなくなりました。

【本資料は、受益者のみなさまにファンドの運用状況をお知らせするためのものであり、投資の勧誘を目的としたものではありません。】

ダイワ・エマージング高金利債券マザーファンド

運用報告書 第14期 (決算日 2015年1月15日)

(計算期間 2014年7月16日～2015年1月15日)

ダイワ・エマージング高金利債券マザーファンドの第14期にかかる運用状況をご報告申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。
主要投資対象	海外の債券
運用方法	①主として、エマージング諸国の現地通貨建債券に分散投資することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。 ②投資にあたっては、以下の点に留意しながら運用を行なうことを基本とします。 イ、J Pモルガン ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケットズ ブロードの構成国を参考に投資対象通貨を選定します。 ロ、通貨の地域配分にあたっては、欧州・中東・アフリカ地域、アジア地域、中南米地域の3地域へ均等とすることをめざします。 ハ、各地域ごとに3通貨を選定して均等に配分することをめざします。通貨の選定にあたっては、各国の金利水準、経済ファンダメンタルズ、流動性等から判断し、年2回以上見直しを行ないます。なお流動性、市場状況等によっては通貨数が異なる場合があります。 ニ、投資する債券は、各国の政府、政府関係機関および国際機関等が発行するものとし、取得時においてB B格相当以上（ムーディーズでB a 3以上またはS & PでB B -以上）とします。 ホ、ポートフォリオの修正デュレーションは1（年）程度から3（年）程度の範囲とします。 ③為替変動リスクを回避するための為替ヘッジは原則として行ないません。
株式組入制限	純資産総額の10%以下

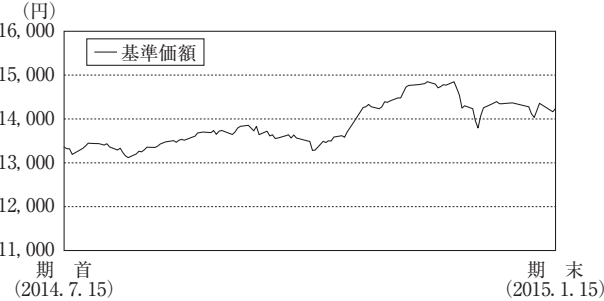
大和投資信託

Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

<http://www.daiwa-am.co.jp/>

■当期中の基準価額と市況の推移



年 月 日	基 準 価 額		J Pモルガン GBI-EMグロ ーバル ダイバーシファイド (円換算)		公社債 組 入 比 率
	円	騰落率 (参考指数)	円	騰落率 (参考指数)	
(期首)2014年 7 月15日	13,359	—	14,744	—	96.4
7 月末	13,435	0.6	14,800	0.4	95.9
8 月末	13,514	1.2	14,856	0.8	96.6
9 月末	13,613	1.9	14,906	1.1	97.2
10月末	13,887	4.0	15,242	3.4	97.6
11月末	14,850	11.2	16,292	10.5	96.9
12月末	14,366	7.5	15,486	5.0	96.5
(期末)2015年 1 月15日	14,241	6.6	15,228	3.3	96.3

(注1) 騰落率は期首比。
(注2) J Pモルガン GBI-EMグローバル ダイバーシファイド (円換算) は、J Pモルガン ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケッツ グローバル ダイバーシファイド (米ドルベース) を円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和投資信託が計算したものです。J Pモルガン ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケッツ グローバル ダイバーシファイドは、信頼性が高いとみなす情報に基づき作成していますが、J. P. Morgan はその完全性・正確性を保証するものではありません。本指数は許諾を受けて使用しています。J. P. Morgan からの書面による事前承認なしに本指数を複製・使用・頒布することは認められていません。Copyright 2014, J. P. Morgan Chase & Co. All rights reserved.
(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。
(注4) 公社債組入比率は新株予約権付社債券 (転換社債券) および債券先物を除きます。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について
【基準価額・騰落率】
期首：13,359円 期末：14,241円 騰落率：6.6%
【基準価額の主な変動要因】
投資している債券の利息収入に加えて、債券の値上がりや通貨が円に対して上昇したことが、基準価額の値上りに寄与しました。

◆投資環境について
○債券市況
債券市況は、米国で早期利上げ観測が高まる局面では、新興国からの資金流出が懸念され金利上昇する場面もありましたが、原油価格の下落からインフレ見通しが世界的に後退していることを背景に、金利は低下する国が多くなりました。

・欧州・中東・アフリカ地域
トルコでは、原油価格の下落を受けてインフレ見通しが低下し、政策金利の引下げ期待が高まったことから金利は低下しました。南アフリカでは、インフレ率が中央銀行の目標範囲内で低下し、追加利上げ観測が後退したことから金利は低下しました。ロシアでは、ウクライナ情勢への懸念が続く中、原油価格の下落を受けた資金流出懸念や格下げ懸念から金利は上昇しました。ポーランドでは、インフレ率の低下を受けて政策金利の引下げが行われたことから金利は低下しました。

・アジア地域
インドネシアでは、大統領選挙の結果を受けて政治的不透明感が後退したほか、燃料補助金削減による財政収支の改善期待を受けて金利は低下しました。フィリピンでは、格付会社による格上げが好感されて金利は低下しました。インドでは、インフレ率の低下を受けて政策金利の引下げ期待が高まり金利は低下しました。マレーシアでは、原油価格下落が経済に与える影響が懸念され金利は上昇しました。

・中南米地域
ブラジルでは、大統領選挙の結果を受けて改革期待が後退したことや政策金利の引上げを受けて金利は上昇しました。メキシコでは、米国で早期利上げ観測が高まる中、米国債券市場の影響を受けて金利は上昇しました。コロンビアでは、政策金利の引上げ停止が短期債の金利低下要因となりましたが、原油価格下落を受けた財政収支悪化への懸念が中長期債の金利上昇要因となりました。

○為替相場
対円為替相場は、新興国からの資金流出懸念を背景に各通貨共に下落する局面もありましたが、当期間を通してみると、日銀の金融緩和等を背景に円安が進展したことから、対円で上昇する国が多くなりました。

・欧州・中東・アフリカ地域
原油価格下落によるインフレ圧力の低下および経常収支改善期待から資金流入が見られたトルコ・リラ、インフレ率の低下や財政政策が好感された南アフリカ・ランドが対円で上昇しました。ポーランド・ズロチは、政策金利引下げへの期待が重しとなり対円で下落しました。ロシア・ルーブルは、原油価格の下落や欧米諸国による経済制裁、格下げなどが要因となり下落しました。

・アジア地域
インドネシア・ルピアおよびインド・ルピーは、構造改革期待が支えとなり対円で上昇しました。フィリピン・ペソは、格付会社による格上げが好感されて対円で上昇しました。マレーシア・リンギットは、原油価格下落による経常収支の悪化が懸念され対円で小幅な上昇にとまりました。

・中南米地域

ブラジル・レアルは、インフレや財政悪化懸念から対円で下落しました。メキシコ・ペソは、米国景気回復の恩恵期待が支えとなりましたが、原油価格下落が嫌気され対円で小幅な上昇となりました。コロンビア・ペソは、主要輸出品目である原油価格の下落が嫌気され対円で下落しました。

◆前期における「今後の運用方針」

欧州・中東・アフリカ、アジア、中南米の3地域で地域分散を図り、その地域内で3通貨ずつ、計9通貨の高金利債券に投資することで、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。金利変動リスクを表す修正デュレーションは約1(年)程度～3(年)程度でコントロールします。

◆ポートフォリオについて

- ・通貨配分に関しては、基本的な商品性格に基づき、各地域均等、各地域内の投資通貨においても均等となることをめざしました。
- ・欧州・中東・アフリカ地域においては、トルコ・リラ、南アフリカ・ランド、ロシア・ルーブル、ポーランド・ズロチ、アジア地域ではインドネシア・ルピア、フィリピン・ペソ、マレーシア・リンギット、インド・ルピー、中南米地域ではブラジル・レアル、コロンビア・ペソ、メキシコ・ペソへ投資しました。
- ・欧州・中東・アフリカ地域では、経済ファンダメンタルズの観点から2014年7月にロシア・ルーブルを除外し、新たにポーランド・ズロチへ、アジア地域では、金利水準の観点から2014年7月にフィリピン・ペソを除外し、新たにインド・ルピーへ投資を行ないました。
- ・債券ポートフォリオの金利リスクについては、修正デュレーションで2.3(年)～2.9(年)程度としました。また、組入債券の種別構成については、現地通貨建国債と国際機関債からなるポートフォリオ構成としました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。当ファンドの基準価額および参考指数の騰落率はそれぞれ6.6%、3.3%でした。

《今後の運用方針》

欧州・中東・アフリカ、アジア、中南米の3地域で地域分散を図り、その地域内で3通貨ずつ、計9通貨の高金利債券に投資することで、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。

金利リスクを表す修正デュレーションは約1(年)程度～3(年)程度でコントロールします。

■1万口当りの費用の明細

項 目	当 期
売買委託手数料	一円
有価証券取引税	—
その他費用 (保管費用)	6 (6)
合 計	6

(注1) 期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。費用の項目および算出方法については前掲の「1万口当りの費用の明細」の項目の概要をご参照ください。

(注2) 各項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

■売買および取引の状況

公 社 債

(2014年7月16日から2015年1月15日まで)

		買 付 額	売 付 額
外	トルコ	国債証券 千トルコ・リラ 219,421	千トルコ・リラ 223,788 (—)
		特殊債券 —	16,419 (—)
	メキシコ	国債証券 千メキシコ・ペソ 1,489,761	千メキシコ・ペソ 1,573,807 (—)
	フィリピン	国債証券 千フィリピン・ペソ —	千フィリピン・ペソ 4,110,949 (154,000)
	コロンビア	国債証券 千コロンビア・ペソ 14,974,090	千コロンビア・ペソ 3,258,714 (—)
	インド	国債証券 千インド・ルピー 6,112,870	千インド・ルピー 582,880 (—)
国	インドネシア	国債証券 千インドネシア・ルピア 122,536,500	千インドネシア・ルピア 466,847,000 (—)
		特殊債券 257,380,433	— (—)
	ブラジル	国債証券 千ブラジル・レアル 132,975	千ブラジル・レアル 137,450 (—)
	ロシア	国債証券 千ロシア・ルーブル —	千ロシア・ルーブル 2,431,508 (—)
		特殊債券 —	855,439 (72,000)
	マレーシア	国債証券 千マレーシア・リンギット 18,248	千マレーシア・リンギット 55,007 (—)
	南アフリカ	国債証券 千南アフリカ・ランド 1,365,687	千南アフリカ・ランド 908,201 (170,000)
	ポーランド	国債証券 千ポーランド・ズロチ 581,626	千ポーランド・ズロチ 304,724 (—)

(注1) 金額は受渡し代金(経過利分は含まれておりません)。

(注2) ()内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。

(注3) 単位未満は切捨て。

ダイワ・エマージング高金利債券マザーファンド

■主要な売買銘柄
公 社 債

(2014年7月16日から2015年1月15日まで)

当		期	
買	付	売	付
銘 柄	金 額	銘 柄	金 額
	千円		千円
Poland Government Bond (ポーランド) 5.25% 2017/10/25	10,738,437	Mexican Bonos (メキシコ) 8.5% 2018/12/13	7,005,083
Mexican Bonos (メキシコ) 8% 2015/12/17	9,717,783	Turkey Government Bond (トルコ) 8.8% 2018/11/14	5,299,178
India Government Bond (インド) 7.28% 2019/6/3	9,241,244	Poland Government Bond (ポーランド) 5.75% 2022/9/23	4,615,977
Poland Government Bond (ポーランド) 5.75% 2022/9/23	5,229,171	Mexican Bonos (メキシコ) 10% 2024/12/5	4,526,639
Turkey Government Bond (トルコ) 10.7% 2016/2/24	4,662,789	PHILIPPINE GOVERNMENT (フィリピン) 9.125% 2016/9/4	3,946,409
REPUBLIC OF SOUTH AFRICA (南アフリカ) 13.5% 2015/9/15	3,887,797	Poland Government Bond (ポーランド) 6.25% 2015/10/24	3,440,820
Poland Government Bond (ポーランド) 6.25% 2015/10/24	3,470,586	REPUBLIC OF SOUTH AFRICA (南アフリカ) 8.25% 2017/9/15	3,427,488
Brazil Letras do Tesouro Nacional (ブラジル) 2016/4/1	3,347,671	Turkey Government Bond (トルコ) 10.7% 2016/2/24	2,929,489
Turkey Government Bond (トルコ) 8.8% 2023/9/27	2,969,250	Russian Federal Bond - OFZ (ロシア) 7.5% 2019/2/27	2,399,398
REPUBLIC OF SOUTH AFRICA (南アフリカ) 10.5% 2026/12/21	2,649,700	Poland Government Bond (ポーランド) 5.25% 2017/10/25	2,268,073

(注1) 金額は受渡し代金(経過利子分は含まれておりません)。

(注2) 単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

(1) 外国(外貨建) 公社債(通貨別)

作 成 期	当 期 末							
区 分	額 面 金 額	評 価 額		組入比率	うちＢＢ格 以下組入 比	残存期間別組入比率		
		外 貨 建 金 額	邦貨換算金額			5 年以上	2 年以上	2 年未満
トルコ	千トルコ・リラ 179,000	千トルコ・リラ 199,629	千円 10,288,886	% 11.0	% —	% 5.0	% 3.8	% 2.2
メキシコ	千メキシコ・ペソ 1,128,000	千メキシコ・ペソ 1,226,724	9,973,266	10.7	—	1.7	—	9.0
コロンビア	千コロンビア・ペソ 180,900,000	千コロンビア・ペソ 190,082,340	9,218,993	9.9	—	2.5	—	7.4
インド	千インド・ルピー 5,800,000	千インド・ルピー 5,701,458	10,889,784	11.7	—	1.4	10.3	—
インドネシア	千インドネシア・ルピア 1,103,940,000	千インドネシア・ルピア 1,077,604,455	10,129,481	10.9	—	1.8	4.9	4.1
ブラジル	千ブラジル・レアル 279,300	千ブラジル・レアル 233,917	10,521,588	11.3	—	—	2.8	8.5
マレーシア	千マレーシア・リンギット 292,000	千マレーシア・リンギット 292,649	9,654,504	10.4	—	—	1.4	9.0
南アフリカ	千南アフリカ・ランド 868,000	千南アフリカ・ランド 948,363	9,749,178	10.5	—	1.8	—	8.7
ポーランド	千ポーランド・ズロチ 255,000	千ポーランド・ズロチ 283,551	9,238,102	9.9	—	1.1	8.8	—
合 計	—	—	89,663,788	96.3	—	15.4	32.0	48.9

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注2) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注3) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

(2) 外国（外貨建）公社債（銘柄別）

		当 期			末			
区 分		銘 柄	種 類	年利率	額 面 金 額	評 価 額		償還年月日
						外 貨 建 金 額	邦貨換算金額	
トルコ		Turkey Government Bond	国債証券	8.8000	千トルコ・リラ 50,000	千トルコ・リラ 55,300	千円 2,850,162	2023/09/27
		Turkey Government Bond	国債証券	10.7000	39,000	40,390	2,081,718	2016/02/24
		Turkey Government Bond	国債証券	10.4000	44,000	49,390	2,545,560	2019/03/27
		Turkey Government Bond	国債証券	10.4000	29,000	35,264	1,817,506	2024/03/20
		INTL. BK. RECON&DEVELOPMENT	特殊債券	13.6250	17,000	19,284	993,938	2017/05/09
通貨小計	銘柄数 金 額	5銘柄			179,000	199,629	10,288,886	
メキシコ		Mexican Bonos	国債証券	10.0000	千メキシコ・ペソ 70,000	千メキシコ・ペソ 93,360	759,020	2024/12/05
		Mexican Bonos	国債証券	8.0000	985,000	1,027,542	8,353,917	2015/12/17
		Mexican Bonos	国債証券	10.0000	73,000	105,821	860,329	2036/11/20
通貨小計	銘柄数 金 額	3銘柄			1,128,000	1,226,724	9,973,266	
コロンビア		Colombia Government International Bond	国債証券	12.0000	千コロンビア・ペソ 134,400,000	千コロンビア・ペソ 141,839,040	6,879,193	2015/10/22
		Colombia Government International Bond	国債証券	9.8500	10,000,000	12,970,000	629,045	2027/06/28
		Colombia Government International Bond	国債証券	7.7500	13,500,000	14,766,300	716,165	2021/04/14
		Colombia Government International Bond	国債証券	4.3750	10,000,000	8,885,000	430,922	2023/03/21
		Colombian TES	国債証券	6.0000	13,000,000	11,622,000	563,667	2028/04/28
通貨小計	銘柄数 金 額	5銘柄			180,900,000	190,082,340	9,218,993	
インド		India Government Bond	国債証券	7.8000	千インド・ルピー 700,000	千インド・ルピー 695,604	1,328,603	2020/05/03
		India Government Bond	国債証券	7.2800	5,100,000	5,005,854	9,561,181	2019/06/03
通貨小計	銘柄数 金 額	2銘柄			5,800,000	5,701,458	10,889,784	
インドネシア		Indonesia Treasury Bond	国債証券	7.3750	千インドネシア・ルピア 20,000,000	千インドネシア・ルピア 20,056,400	188,530	2016/09/15
		Indonesia Treasury Bond	国債証券	6.2500	88,000,000	86,233,840	810,598	2017/04/15
		Indonesia Treasury Bond	国債証券	6.6250	98,800,000	85,004,556	799,042	2033/05/15
		Indonesia Treasury Bond	国債証券	5.2500	194,500,000	182,567,425	1,716,133	2018/05/15
		Indonesia Treasury Bond	国債証券	8.3750	92,000,000	94,574,160	888,997	2034/03/15
		Indonesia Treasury Bond	国債証券	7.8750	90,000,000	91,702,800	862,006	2019/04/15
		EUROPEAN INVESTMENT BANK	特殊債券	7.2500	61,700,000	61,283,525	576,065	2015/02/22
		EUROPEAN BK RECONSTRUCTION & DEVELOPMENT	特殊債券	5.7500	140,000,000	138,042,800	1,297,602	2015/11/30
		EUROPEAN BK RECONSTRUCTION & DEVELOPMENT	特殊債券	7.2000	59,940,000	59,481,459	559,125	2016/06/08
		EUROPEAN BK RECONSTRUCTION & DEVELOPMENT	特殊債券	7.2500	130,000,000	129,996,100	1,221,963	2016/02/08
		INTER-AMERICAN DEVELOPMENT BANK	特殊債券	7.2500	99,000,000	98,921,790	929,864	2017/07/17
		African Development Bank	特殊債券	7.0000	30,000,000	29,739,600	279,552	2017/03/06
通貨小計	銘柄数 金 額	12銘柄			1,103,940,000	1,077,604,455	10,129,481	
ブラジル		Brazil Notas do Tesouro Nacional Serie F	国債証券	10.0000	千ブラジル・レアル 14,300	千ブラジル・レアル 13,736	617,852	2017/01/01
		Brazil Notas do Tesouro Nacional Serie F	国債証券	10.0000	16,000	15,157	681,796	2018/01/01
		Brazil Letras do Tesouro Nacional	国債証券	—	42,000	35,342	1,589,709	2016/07/01
		Brazil Letras do Tesouro Nacional	国債証券	—	47,000	37,342	1,679,684	2017/01/01
		Brazil Letras do Tesouro Nacional	国債証券	—	16,000	15,174	682,558	2015/07/01
		Brazil Letras do Tesouro Nacional	国債証券	—	33,000	24,764	1,113,922	2017/07/01
		Brazil Letras do Tesouro Nacional	国債証券	—	87,000	75,376	3,390,448	2016/04/01
		Brazil Letras do Tesouro Nacional	国債証券	—	24,000	17,021	765,617	2018/01/01
通貨小計	銘柄数 金 額	8銘柄			279,300	233,917	10,521,588	

ダイワ・エマージング高金利債券マザーファンド

区 分		当 期		末			
		銘 柄	種 類	年利率	額 面 金 額	評 価 額	
						外 貨 建 金 額	邦貨換算金額
マレーシア		MALAYSIAN GOVERNMENT	国債証券	4.2620	119,000	120,131	3,963,144
		MALAYSIAN GOVERNMENT	国債証券	3.7410	7,000	7,002	231,022
		MALAYSIAN GOVERNMENT	国債証券	3.8350	52,000	52,159	1,720,729
		MALAYSIAN GOVERNMENT	国債証券	3.1720	74,000	73,573	2,427,173
		MALAYSIAN GOVERNMENT	国債証券	3.3940	40,000	39,782	1,312,434
通貨小計		銘柄数	5銘柄				
		金 額			292,000	292,649	9,654,504
南アフリカ		REPUBLIC OF SOUTH AFRICA	国債証券	10.5000	130,000	160,680	1,651,790
		REPUBLIC OF SOUTH AFRICA	国債証券	13.5000	518,000	542,698	5,578,937
		REPUBLIC OF SOUTH AFRICA	国債証券	13.5000	220,000	244,985	2,518,449
通貨小計		銘柄数	3銘柄				
		金 額			868,000	948,363	9,749,178
ポーランド		Poland Government Bond	国債証券	5.7500	25,000	31,455	1,024,812
		Poland Government Bond	国債証券	5.2500	230,000	252,096	8,213,290
通貨小計		銘柄数	2銘柄				
		金 額			255,000	283,551	9,238,102
合 計		銘柄数	45銘柄				
		金 額					89,663,788

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。
(注2) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2015年1月15日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
公 社 債	89,663,788	95.2
コー ル ・ ロ ー ン 等、 そ の 他	4,528,689	4.8
投 資 信 託 財 産 総 額	94,192,477	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。
(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、1月15日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル＝117.71円、1トルコ・リラ＝51.54円、1メキシコ・ペソ＝8.13円、100コロンビア・ペソ＝4.85円、1インド・ルピー＝1.91円、100インドネシア・ルピア＝0.94円、1ブラジル・リアル＝44.98円、1マレーシア・リングギット＝32.99円、1南アフリカ・ランド＝10.28円、1ポーランド・ズロチ＝32.58円です。
(注3) 当期末における外貨建純資産 (92,344,336千円) の投資信託財産総額 (94,192,477千円) に対する比率は、98.0%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2015年1月15日現在

項 目	当 期 末
(A)資 産	95,792,559,604円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	2,880,849,835
公 社 債 (評価額)	89,663,788,160
未 収 入 金	1,604,200,000
未 収 利 息	1,389,365,236
前 払 費 用	254,356,373
(B)負 債	2,671,249,195
未 払 金	2,176,249,195
未 払 解 約 金	495,000,000
(C)純 資 産 総 額 (A－B)	93,121,310,409
元 本	65,388,777,924
次 期 繰 越 損 益	27,732,532,485
(D)受 益 権 総 口 数	65,388,777,924口
1万口当り基準価額 (C／D)	14,241円

*期首における元本額は71,759,127,031円、当期中における追加設定元本額は1,274,393,096円、同解約元本額は7,644,742,203円です。
*当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額は、ダイワ成長国セレクト債券ファンド (毎月決算型) 60,609,056,024円、ダイワ成長国セレクト債券ファンド (年1回決算型) 330,427,672円、ダイワ・エマージング高金利債券ファンド (毎月分配型) 4,439,457,181円、ダイワ・エマージング高金利債券ファンド (年1回決算型) 9,837,047円です。
*当期末の計算口数当りの純資産額は14,241円です。

■損益の状況

当期 自2014年7月16日 至2015年1月15日

項 目	当 期
(A)配 当 等 収 益	3,805,537,758円
受 取 利 息	3,805,537,758
(B)有価証券売買損益	2,589,029,266
売 買 益	5,973,532,027
売 買 損	3,384,502,761
(C)そ の 他 費 用	△ 39,380,370
(D)当 期 損 益 金 (A + B + C)	6,355,186,654
(E)前期繰越損益金	24,104,426,724
(F)解約差損益金	△ 3,180,897,797
(G)追加信託差損益金	453,816,904
(H)合 計 (D + E + F + G)	27,732,532,485
次期繰越損益金 (H)	27,732,532,485

- (注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。
- (注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

《お知らせ》

●書面決議手続きの改正について

- 重大な約款変更や繰上償還の際に行なう書面決議について、2014年12月1日施行の法改正により以下の点が変更されたことに伴い、信託約款の該当箇所の変更を行ないました。
- ・書面決議の可決要件が、「受益者の半数以上の賛成かつ受益者の保有する議決権の3分の2以上の賛成を得ること」から「受益者の保有する議決権の3分の2以上の賛成を得ること」に変更されました。
 - ・投資信託の併合を行なう際、すべての場合で書面決議が必要とされてきましたが、その併合が受益者の利益に及ぼす影響が軽微なものであるときは、当該併合に関する書面決議が不要となりました。
 - ・書面決議に反対した受益者による受益権買取請求の規定について、一部解約請求に応じる投資信託（当ファンドは該当します。）には適用されなくなりました。

【本資料は、受益者のみなさまにファンドの運用状況をお知らせするためのものであり、投資の勧誘を目的としたものではありません。】